

# 図書館部報

岡崎市現職研修委員会  
学校図書館部  
令和3年12月20日  
No. 3

## 懐かしき一冊との再会

岡崎市教育委員会学校指導課  
指導主事 堀田 史

先日、子供の頃に使っていた本棚を片付けていたときの事です。一冊の本が目にとまりました。表紙は破れ、ほこりもかぶっていましたが、それでもたくさん並んでいる本の中で、なぜかその一冊に自分の手が止まったのです。本のタイトルは「クワガタクワジ物語」。どのようなきっかけでこの本を読んだのかは記憶にありません。それでも小学生の頃、この本に出会い、夢中になって読んだことだけは、今でもはっきりと覚えています。

小学二年生の太郎さんが、あこがれのクワガタを、生まれて初めて自分の手で捕まえたところから物語は始まります。太郎さんは、そのクワガタたちに名前を付け、大切に育てます。越冬にも挑戦し、見事に成功させます。三年という月日を共に過ごすうちに、クワガタたちはいつしか家族のような存在になっていきます。しかし、そんな太郎さんをいつも温かく応援してくれていたお母さんに病気が見つかります。そしてクワガタたちとの悲しい別れ。命の大切さについても考えさせられる一冊です。

ただ当時の自分は、そこまで深く読んではいなかったと思います。太郎さんと同じように、カブトムシやクワガタムシを捕まえるのに夢中になり、野山を駆け回る小学生でした。そして自分の手で初めてクワガタを捕まえたときの鼓動の高鳴り、逃がすまいと必死に家まで走って帰ったことは今でも忘れられません。この本をきっかけにクワガタに名前を付けたり、飼育環境を工夫したり、そして越冬に挑戦したり、クワガタに夢中になった小学生の頃の自分。古びた本のページをめくる度に、その頃の思い出がよみがえり、そのときの自分に再会できた気がしました。

あれからたくさんの歳月が過ぎ、改めてこの本を読んでみると、その当時は思わなかったことや考えなかったことに気づかされます。自分なりに様々な経験をし、知識を得て、見えなかったことが見えるようになったのかもしれない。確かに新しい本に出会い、新鮮な感動や新しい知識を得ることも読書の楽しさであると言えます。それでも同じ本を何度も読み返すということも読書の楽しみ方の一つであるとも思います。自分なりにいろいろな経験をし、その経験を踏まえてもう一度読み返すと、新しい発見や感動があると改めて感じることができました。そして、それは国語の授業でも同じことが言えるのではないのでしょうか。なぜ授業で教材文を何度も繰り返し読むのでしょうか。それは読むたびに新しい発見や新しい考えが生まれてくるからです。昨日の授業で見えなかったものが見えてくるからです。そうした自分の気付きや感動を仲間と共有する、そのような本の読み方を学ぶことも国語の授業を楽しくする一つではないかと考えます。

外の寒さに、おうち時間も増えるこの季節、新しい本に出会ったり、子供の頃に読んだ思い出の一冊を読み返したりするなど、本との楽しい時間を、ぜひ皆さんも過ごしてみたいはいかがでしょうか。ちなみに本棚の片付けは一向に進まず、この冬、私の宿題となりそうです。

# 第71次教育研究集会愛知大会に参加して

県教研に参加させていただき、主に小学校は「読書センター」、中学校は「情報センター」のそれぞれの役割について改めて勉強させていただきました。協議の中で挙げたのは、読書に対する各々の価値観を大切にすることが心豊かな子を育成することにつながるということでした。今後大人になったときにも読書を楽しむことができるよう、本と自分をつなぎ合わせる実践が目を引き、読書活動の在り方を再認識しました。また、充実した読書を行うためには、本から情報を取得し、そこから自らの意思で取捨選択し、自分の表現に役立てることができるように、教師が手だてを講じる必要があると理解しました。

これら二つをより充実させることで、主体的・対話的な学びを実現することができると学び、本校での読書実践に生かしていきたいと考えることができました。

＜根石小学校 福永 えりな＞

県教研では、どの分会からも児童生徒の実態に合わせた特色ある実践報告がなされ、大変興味深く参加させていただくことができました。「読書活動」では、本の良さを誰に・何のために伝え広げていくのかということについて学ばせていただきました。特に、相手へのインタビューをもとに、その人に合った本を選書するという実践からは、相手意識をしっかりとって本を選ぶことで、「本」と「人」とがより深くつながる読書活動になっていくのだということが分かりました。また図書館運営については、校種ごとの利用率や利用目的の変化から、学校図書館の在り方について理解を深めました。「中学生からは、趣味としての読書から情報を得るための読書へ」とご助言をいただいたので、今後は「情報センターとしての図書館」を意識しながら、運営に生かしていきたいです。

＜竜海中学校 緒方 涼子＞

## 〈図書館活動紹介〉

本校では読書に親しむ機会を少しでも増やそうと、新たな図書カードを作成し、5冊読めたらシール、25冊読めたら葉をプレゼントするという取組を始めました。教員補助さんが、すてきな葉をたくさん作って下さいました。子どもたちは、お気に入りの葉を手に入れようと競うように読書にいそむようになりました。昨年度までと比べると貸し出し冊数が大幅に増え、この取組の成果を実感しています。ぜひ読書の幅を広げ、心豊かな人生を送ってほしいと願うばかりです。



＜宮崎小学校 竹内 謙作＞



### 【今後の主な予定】

- 1月上旬～2月上旬 第3回SLBA図書注文
- 1月上旬 「読書感想文・読書感想画優秀作品集第57集」チラシ配付・注文
- 1月24日 注文締め切り
- 1月28日 市読書感想文・読書感想画コンクール表彰式（第3回主任会）
- 2月下旬 「読書感想文・読書感想画優秀作品集第57集」発行

